

# 実践・森づくり技術講座（森林塾 体験会）

【開催日】 2020年3月7日(土曜日)

【開催場所】 奥多摩町棚沢

【主催者】 FIT 森林塾

【スタッフ】 講師：小島、関、牧田 事務局：得能、芝原

【参加者】 相原さん、有山さん、久保さん、鳥崎さん、古谷さん、星野さん 以上6名

【報告者名】 芝原 久(H30：みわの会)

【報告写真枚数】 8枚

## 【一文紹介】

4月からスタートする「実践・森づくり技術講座」に先立ち、3月7日に「体験会」を開催いたしました。

## 【公開記事】

FIT森林塾では、森づくりの魅力に触れながら、基本的な技術を身に付けていただくために4月からスタートする「実践・森づくり技術講座」に先立ち、3月7日(土)に「森林塾体験会」を開催いたしました。

当日は、曇りとは言え早春の暖かいやさしい日和でした。

集合場所となる「花の里」ではワサビ田を流れる水のせせらぎ、空を飛び交う鳥のさえずりを聞きながら森林塾の体験会が始まりました。

最初に、校長からの挨拶、自己紹介、準備体操を行った後、安全上の注意事項を共有し、フィールドに入りました。体験会参加の皆さんにはまずフィールドを歩いていただきながら、このフィールドで見られる動植物の紹介や、フィールドの特徴の説明を講師の方々にしていただきました。あわせて、このフィールドにおける森づくりの考え方や活動内容など、森林塾の活動紹介がありました。すぐさま動物散布の動かぬ証拠品に遭遇しました。落葉広葉樹の区画では、植栽されたコナラ等の広葉樹が順調に育ち、これらの一部を間伐し、ほだ木として利用したり、コナラ等の実生をフィールドの別のところに植栽してシカよけネットで囲い4年を経過している愛おしいコナラの話など、多岐にわたる活動紹介の一端を紹介されました。参加者の皆さん、どの話もとても関心があるようで、熱心に講師の話聞き入っていました。また、昨年の台風による災害で斜面の崩落等が多く昨年の集合場所、フィールド案内のコースを変更せざるを得ないこととなりました。丸太橋の流出を修復し簡易的な手梯子にて行き交う所がありました。

お昼をはさんで、ヒノキの間伐体験をしてもらいました。鋸を使って、受け口・追い口を入れるのも、急斜面では思った以上に大変だったようです。メインロープ、コントロールロープを使って、参加者全員で目標方向に伐倒した後は、参加者・スタッフ全員で皮むき作業を行いました。皮むきは、意外とむけました。今回は苦いと参加者が一言！！ 樹木時の枝打ち、材となった時の枝払いを丁寧に作業していないと、皮むき作業量が格段に違う分かれ目となる良い体験となったと思います。

最後に道具の手入れを行い、体験会は無事・怪我・事故無く終了いたしました。



① 手梯子で行き交う



② 伐倒後材となる瞬間



③受け口



④受け口のヒノキの香り



⑤追い口



⑥枝払い



⑦皮むき



⑧道具の手入れ